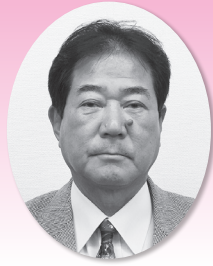


一般質問



これからのまちづくり協議会の役割について



令和会 ● 大島 正秀 議員

問 地域支えあい推進員は社会福祉協議会および自治会ではなく何故、まちづくり協議会が担うのですか。

答 「自分たちのまちは自分たちでつくる」という基本理念のもとに、まちづくり協議会は様々な取り組みを展開されています。その中の「互いに支えあう地域福祉事業」においても住民同士の様々な垣根を超えた横の繋がりを育て、地域の課題や地域で活躍する皆さんの架け橋となつていただきたいとの思いで設置をお願いしました。

問 地域支えあい推進員の設置について、それだけの団体に説明しましたか。

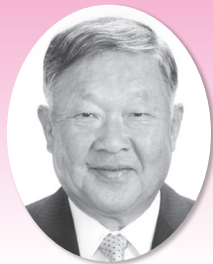
答 平成31年度から、まちづくり協議会単位に「地域支えあい推進員」を1名配置して行きたい旨をまちづくり



協議会会長会議にて説明し、その後、区長会や健康推進員の会議、民生委員・児童委員総務部会で説明を行いました。

問 デマンド交通をどのように推進して行こうとしていますか。

答 今後、市内の幹線道路を市が主体となつてコミュニティバスの運行を行い、公共交通では対応できない身近な交通手段の確保については「まちづくり協議会」に主体となつていただき、地域の独自のデマンド型交通の運行をお願いしたいと考えています。



文化施設の維持と利活用について



無所属の会 市民の力 ● 松原 栄樹 議員

天保義民碑について

問 この地域の先人が命を賭けて幕府役人の不当検地に反対した「農民一揆」、この一揆の指導者たちの行動を讃える天保義民碑が老朽化していますが。

答 生命を投げ出してまで村民を救おうとされた義民に感謝するとともに、後世に伝承するよう努めなければならぬし、碑については平成28年に耐震診断を実施しました。今後の維持管理やそのあり方につき、義民ご遺族の意見を伺いながら方向性を決めたいと考えます。

問 石碑が建っている伝芳山は「県民花の森」でもあり、現在プロポーザル公募でプラン提供を求めている三雲駅南側市有地の利活用も含めて、湖南市の東の玄関口としての整備

構想をお持ちですか。

答 南側市有地が決まることにより様々な案が出ると思います。碑の建替えは検討していません。費用のこともあり、現在の場所及び移設も含めて遺族の方ともご相談したいと思います。移設ならば三雲駅南口の角の公園用地を考えています。

問 歴史的偉業実話を風化させてはいけないとの思いから学校教育での対応について、今あるビデオやDVDの活用はいかがですか。

答 「まち探検」や校内テレビ放送鑑賞における話し合いなど、学習機会を増やしていきたいです。



天保義民碑